

3-4 コミュニティ・市民活動

1 コミュニティ活動の支援

●基本方針

市民の自主的なコミュニティ活動を積極的に支援することにより、幅広い世代間の活動・交流が活発に行われ、ふるさとだと思えることができるような、ふれあいと愛着が感じられるコミュニティづくりをすすめます。

●現状と課題

住民相互の連帯感が希薄化し、地縁による従来型のコミュニティが弱体化しつつありますが、高齢化や犯罪の増加、災害への備えなど身近な地域課題に対処するには、日常生活の基本を支えるコミュニティの役割は極めて重要です。住民相互の交流や連携を一層促進し、地域の自主的なコミュニティ活動を支援していくことが強く求められています。

また、ごみの散乱、自転車などの放置、迷惑駐車など、人々のモラルの低下やマナーの欠如などにより生活環境が悪化する中、市民参画による安全で快適なまちづくりを一層推進していく必要があります。

●数値目標

	現状値	18 年度目標値	22 年度目標値	所管局
地域パトロール活動など市民活動の参加者数	—	30 万人	40 万人	市民経済局
数値目標設定の考え方： 活動の延べ参加者数が、全市民の 20%になることをめざす。				
町を美しくする運動の参加者数	138,727 人 (14 年度)	165,000 人	171,000 人	市民経済局
数値目標設定の考え方： 町を美しくする運動の盛り上がりについて、現状の 2 割増をめざす。				

●事業計画

事業名	事業内容	現況(未見込み)	計画目標 [~ の事業量等]	所管局
安全・快適なまちづくりの推進 (新規)	市民との協働により条例を制定し、市民参画による安全・快適なまちづくりを推進	—	条例の制定・施行 パトロール活動など市民活動の実施	市民経済局はじめ関係局
町を美しくする運動の推進	市民・企業・行政のパートナーシップにより、ごみのポイ捨ての防止、ごみ減量意識の普及、愛・地球博に向けた美化意識の向上および実践活動を実施	実施	実施	市民経済局

ポイ捨ての防止	美化推進重点区域を指定し、ポイ捨て防止パトロール、クリーン活動などを実施 市民、事業者、行政が協働してポイ捨てを防止するため、「名古屋クリーンパートナー制度」を創設	実施 モデル実施 3 地区	実施 クリーンパートナー登録 50 団体	環境局
コミュニティセンターの整備	地域住民が気軽に集まることができるコミュニティ活動の拠点であるコミュニティセンターの建設・改修を推進 コミュニティセンターを拠点とした地域活動を促進するため、各区の情報を収集・整理するとともに、交流会を開催し、情報提供を充実	コミュニティセンターなど 累計 240 館 —	コミュニティセンターの建設 [14 館] コミュニティ活動に関する情報提供の充実	市民経済局

2 市民活動の支援

●基本方針

市民の自主的なコミュニティ活動を積極的に支援することにより、幅広い世代間の活動・交流が活発に行われ、ふるさとだと思えることができるような、ふれあいと愛着が感じられるコミュニティづくりをすすめます。

さまざまな分野で展開されるボランティア活動や NPO 活動に対し、活動しやすい環境の整備をすすめ、市民・企業・行政のパートナーシップによるまちづくりをすすめます。

●現状と課題

近年、市民のボランティア活動への関心が高まり、社会福祉や環境保全をはじめとしたさまざまな分野において、市民による自主的な活動が盛んになっています。県内の NPO の法人設立申請件数は、14 年度には月 10 件程度だったものが、15 年度には月約 20 件と急増しています。

こうした中で、本市は、14 年度に設置したなごやボランティア・NPO センターなどにおいて市民活動団体の育成支援を行ってきたところですが、今後は、その成果を生かして、NPO と本市の協働事業を促進していくなど、市民・企業・行政のパートナーシップによるまちづくりを一層すすめていく必要があります。

●数値目標

	現状値	18 年度目標値	22 年度目標値	所管局
市内に主たる住所のある NPO 法人数	154 団体 (14 年度)	400 団体	700 団体	市 民 経 済 局
数値目標設定の考え方： NPO 法人の増加をめざす。				

●事業計画

事業名	事業内容	現況(未見込み)	計画目標 [~ の事業量等]	所管局
NPO の企画提案による協働事業の実施 (新規)	地域の課題の解決策を NPO から募り、市と NPO との協働により事業を実施	—	実施 年 3 件	市民経済局
なごやボランティア・NPO センターの運営	NPO など民間団体によるセンターの管理・運営を実施	市による管理・運営	民間団体による管理・運営	市民経済局

3 魅力ある地域づくりの推進

●基本方針

地域のさまざまな課題に対して、住民と行政が柔軟に役割分担を決め、協力しながら取り組んでいくことにより、魅力ある地域づくりをすすめます。

●現状と課題

地域住民の郷土意識と連帯感を高めるため、各区役所において、住民や NPO の参画を得ながら、地域の課題や特性に応じたテーマによる区の魅力づくりに取り組んでいます。

地域の個性化がすすみ、地域ごとに異なるニーズに見合ったきめ細かいサービスが要求される中、今後、区の魅力づくり事業の牽引役となる住民や NPO の育成、発掘した魅力の発信を通し、地域の主人公である住民が主体となったまちづくりをさらにすすめる必要があります。

●数値目標

	現状値	18 年度目標値	22 年度目標値	所管局
区の魅力づくり事業の進捗率	63% (14 年度)	80%	100%	市民経済局
数値目標設定の考え方： 区民が主体となった魅力あるまちづくりをすすめるため、区の魅力づくり事業の完全実施をめざす。				

●事業計画

事業名	事業内容	現況(未見込み)	計画目標 [~ の事業量等]	所管局
区の魅力づくり	地域の伝統文化やまつりなど、区の特性や課題に応じて、市民や NPO を運営主体とした魅力あふれる特色あるまちづくりを支援	特色ある区づくり推進事業の実施 パートナーシップのまちづくり研修の実施	特色ある区づくり推進事業の実施 パートナーシップのまちづくり研修の実施	市民経済局 各区
ある区ネットワークづくり	身近な公園、道路、水辺を活用し、誰もが気軽に散歩などを楽しむことができる快適な歩行者空間づくりを、区民とのパートナーシップにより推進	累計 7 地区	累計 10 地区 [完了 3 地区]	緑政土木局 各区